



農林水産部 農林水産課 阿部 一博 平成 27 年度入庁

事務

多くの人から喜びの声を聞くことができる やりがいのある仕事です

農林水産課では、本市農林水産業の振興のため、新規就農者の受入等による担い手の確保育成、農地集積や有害鳥獣の駆除等による生産振興、地産地消の推進、漁業の活性化支援等を行っています。私は、その中でも農産品のPRイベントや品評会の運営、補助金業務、市民農園の管理を主に担当しています。倉敷市の魅力ある多彩な農産品について、より良いPRができるよう様々なアイデアを出し、それが実現した時にはとてもやりがいを感じます。また、市民農園の管理を通して、農家以外の方が自然に触れ合う機会をサポートすることで、多くの人々から喜びの声を聞くことができることにもやりがいを感じています。

ある日の私の1日

- 8:10 登庁
- 8:30 始業、メール確認
- 9:00 スイートピー農場視察
- 10:30 JA担当者イベント
打ち合わせ
- 12:00 昼食
- 13:00 市民農園巡回
- 14:30 国、県への申請書類
作成
- 16:30 ホームページの更新
メールマガジン配信
- 18:00 退庁



平成 27 年度入庁 市民生活部 市民課 秋山 依里

事務

市民の皆様の生活を様々な場面で サポートできる仕事です

市民課の仕事は住民票や戸籍の交付などの他にも、非常に幅広い業務があり、市民の生活に様々な場面で関わっています。私の業務は、証明書の交付や住所異動の手続きについて市民の方にご説明することが多いのですが、電話でご説明していた際に、「もっとわかりやすく簡潔に説明して」と、ご指摘いただいたことがありました。それ以降、様々な手続きの流れや根拠法令を勉強したり、先輩の説明している様子を参考にすることで、少しでもわかりやすい説明となるよう心がけました。最近では、スムーズに手続きをご案内でき、市民の方から感謝されることもあり、市民課で市民の皆様の生活のサポートができることにやりがいを感じています。

ある日の私の1日

- 8:00 登庁、窓口の準備
- 8:30 始業、窓口業務
- 10:30 回議文書の確認
- 12:00 窓口当番（証明交付）
- 13:00 昼食（同期の友人と）
- 14:00 証明書の審査
- 17:15 窓口の片付け
- 17:30 担当業務の文書作成
- 19:00 退庁



玉島支所 建設課 小井手 貴大 平成 27 年度入庁

土木

改修に携わった道路の完成が 喜ばれていることを実感できる仕事です

玉島支所建設課では、地区内の市道の管理・改良・維持補修や河川・公園の管理、さらには下水道の普及促進に関することなど、幅広い業務を行っています。その中でも私は、市道の拡幅や補修など、市民の皆様の利便性・安全性を向上させるための道路工事を担当しています。具体的な内容としては、地域からの道路整備の要望をもと

ある日の私の1日

- 7:50 登庁
- 8:30 始業、電話応対
- 9:30 施工業者との現場立会
（工事の指示）
- 10:30 地域の方との現場立会
（道路補修の要望）
- 12:00 昼食
- 13:30 工事現場の進捗確認
- 14:30 道路の補修作業
- 16:00 図面作成
- 18:00 退庁

に、現場ごとに最適な設計を行い、工事請負者や関係機関との密な調整を経て工事を実施します。予定通り進まないこともあります。上司や先輩職員の助言を受けながら1つ1つ課題を解決し、工事を完成させることに大きな魅力を感じています。また、工事後に地域の方から感謝の言葉をいただくことも多く、日々やりがいを感じています。



平成 26 年度入庁 下水道部 下水建設課 中原 彩

土木

一から設計を担当し、完成したときは、 非常に大きな達成感を感じます

下水建設課では、家庭から出る雑排水等を流すための下水道を整備しており、私の担当業務は、下水道工事の設計書の作成や、施工監理などです。また、地域の方への説明や、要望をお伺いしたり、工事現場で施工業者と打ち合わせするなど、デスクワークだけでなく

ある日の私の1日

- 8:10 登庁
- 8:30 始業、メール確認
- 9:30 材料検収（工事の材料
を確認）
- 10:00 現場調査
- 12:00 昼食
- 13:30 現地にて水道局、ガス
会社と打ち合わせ
- 15:00 打ち合わせ内容につ
いての文書作成
窓口業務
- 18:15 退庁

現場に出ることも多くあります。その他にも、小学校で「出前講座」を行い、子どもたちに下水道の仕組みや役割を分かりやすく伝える活動も行っています。計画・設計の段階から施工業者や地域の方、関係機関と協議を重ねて工事を行うので、無事に工事が完了した時には非常に大きな達成感があります。今後も、1つ1つの工事を通じて、知識と経験を蓄えていきたいと思えます。